

過去は変えることができる

以前読んだ本に「過去と他人は変えられない。未来と自分は変えられる」という言葉がありました。過去を悔やんでも、他人に対してとやかく思っても仕方がなく、自分が変わるることによって良い未来が作られていくのだという、非常に前向きでお気に入りの言葉の一つです。ところが最近「過去は変えることができる」ことに気がつきました。今回は、その気づきについてお伝えします。

最

近「過去と他人は変えられない。未来と自分は変えられる」という言葉を何度も聞く機会があり、ふと、本当にそうだろうかという疑問が生まれました。以前の私は、何一つ自慢できることもない、人と比べて劣等感を抱く、自己肯定感が低い人間でした。しかし、仕事漬けの毎日を過ごし、努力することで、少しずつ社会人として認められ自信ができました。経営者になってからは、著書を4冊出版し、講演依頼も増え、東京八王子ビートルズの再建の話までいただき、ありがたいことに周りから必要とされるようになってきました。人材育成においては、高卒という劣等感がありました、そのおかげで学びにきている大学中退の人や専門学校の人に対して何のためらいもなく「頑張ればリーダーシップを身につけられる」と心の底から言えます。経営者の自分が心からそう思えるというのは、何よりも会社の強みです。人前であがってしまうのも嫌でした。しかし、あがり症の人でも必ず話せるようになるし、吃音も改善されます。自己肯定感が低かつ

たという黒歴史は、今ではバラ色の過去になっていきます。小さな成功を重ねるうちに、過去の嫌な経験があったから良かったのだと思えるようになります。だから「過去は変えることができる」のです。

経

営においては、設立当初を除けばリーマンショックのときとコロナ禍のときの計2回、赤字を出して苦しかった時期があります。乗り越えられたのは、やはり20代前半で給料が止まった時期を経験したからです。給料が出ない当時は本当にお先真っ暗でした。トップの成績を出しても給料は出なかったもので、傍から見れば地獄のような生活です。それを乗り越えたからこそ、社長になってからは、どんなに辛くても、その時期に比べたらなんでもないと思えました。

ネットで個人的にも散々、誹謗中傷を受けました。乗り越えられたのは、小学校のときにクラス全員から無視された経験があったからです。個人攻撃をされて辛かったです、仲間がたくさんいて自分は一人

じゃないという状況だったから耐えられました。現在、誰でもネットを使う時代になり、当社も他社と同様に学生から厳しい意見をいただくこともあります。しかし圧倒的に多くの仲間がいるので、厳しい意見にも、ありがたいなと素直に受け取り改善しています。小学生のときの無視された経験、ネットでの誹謗中傷を、辛い過去から感謝できる過去に変えることができました。

ただ、ハードルを上げすぎると難しいかもしれません。若い方なら有名企業に就職しなければ幸せにならない、有名人と付き合っただけ大金持ちにならないれば幸せにならないという考え方は、一生かかっても幸せを掴めないかもしれません。「足るを知る」という言葉があるように、忙しい毎日でも、少し目を閉じて「今あるものに有難い」という心になることで、過去は一気に変わります。小さな成功を積み重ねることによって、自己肯定感が高まり、良い人生を歩んでいることに気づき、嫌だった過去を変えることができます。感謝の心を持ち小さな成功を積み重ねていきましょう。



(株)キャリアコンサルティング 代表取締役社長 室舘 勲
MURODATE Isao

2003年に株式会社キャリアコンサルティングを設立。全国で若者の育成に取り組む。ブータン王国王立マネジメント大学など講演実績多数。全国社内木鶏経営者会 副会長。ミス・ワールド・ジャパンの講師・審査員。著書に「夢を見て 夢を叶えて 夢になる」(致知出版社)、「まずは上司を勝たせなさい」(講談社)、「『応援される人』になりなさい」(ワック)がある。